

第2回次世代育成支援対策地域協議会 会議録概要

日 時	平成21年11月16日（月） 午後7時から午後9時5分
場 所	笠間市役所 中会議室
出席者	出席委員 増淵委員, 常井委員, 打越委員, 湊委員, 柴山委員, 村上委員, 前川委員, 藤岡委員, 小菅委員, 岡部委員, 安田委員長, 高橋委員, 中庭委員, 畑岡委員 欠席委員 清宮委員, 佐藤副委員長, 秋本委員, 染谷委員, 鈴木委員, 岡野委員 事務局 櫻井子ども福祉課長, 海老沢少子化対策室長, 岡野主査, 浜田, 佐藤まちづくり研究所所員
傍聴人	0人
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議 事 (1) 笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」後期行動計画（素案） について (2) その他 4. 閉 会

会議内容	
	委員長挨拶後会議を進行する。
	議事（1）笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」後期行動計画（素案）について
事務局	配布資料1～5に基づき説明 以下, 主な意見
委員長	始めに1～2章で検討し, その後3～5章をまとめて検討することといたします。
意 見	目的の項目で次世代法に基づき計画策定が義務化されたようですが, この計画が国にあがっていくのですか。また, 51ページにあるように国に求められているものに, 国から財政的な支援があるのですか。
回 答	国への報告は, 資料1の51ページにある保育サービスの目標量だけ求められていて計画書は求められていません。国は全国の市町村からあげられた目標量をまとめて国全体の目標算出根拠とし, 新待機児童ゼロ作成などに生かしていくものと考えられます。 また, 計画書と補助の関係については, 国の保育事業などはこの計画に掲載されていることが要件の1つとなっています。
意 見	19ページの課題の中にある, 子育てサポート事業の利用が伸び悩んでいる理由と今後のファミリーサポートセンターへの以降についてはどうなのか, もう少し詳しく説明をお願い

します。

回 答 子育てサポートは、社会福祉協議会に委託していますが、現実的に利用者が伸び悩んでいます。

実質ニーズはあります。アンケートやハッピートークからは、市民のニーズとして求められています。

PR不足も要因の1つとして考えられています。

手法としては、利用したいがどうしたら判らないという人を減らします。

行政と受託先の社協の取り組みの充実が求められるところでもあります。

意 見 19ページ子育てサポートの6行目「を」→「の」などに修正するなど、文章のおくりや修正をお願いします。

委員長 続いて、3章から5章ですが、3章として仲間、時間、空間の視点で取り組む内容と、計画全体を関連指標で点検していくことだと思います。

3～5章についてご意見ををお願いします。

意 見 25ページの基本目標3は「心豊かに…」からはじまっている。しかし、基本施策(1)は「学力向上と…」からになっているので、「心豊かな成長と学力向上を支える…」に修正してほしい。

委員長 そのように変更していただければとおもいます。

意 見 教育は、体育、徳育の上に知育があるのでそれで進める事で良いのではないのでしょうか。

意 見 32ページ、第2節の仲間の取り組みについて、取り組みの方向性には具体的な目標数値は掲げないのですか。

回 答 先ほど資料4に示したとおりの内容としていきたいと考えています。

この表を本編に差し替えたいと考えています。

意 見 例えば子育てサポートの会員数の目標など積算根拠は何かあるのですか。

回 答 まずは、基本的には100人が目標ですが、26年度には倍にしていきたいと思います。潜在的利用を含め、8万人弱の市の規模から勘案いたしました。

意 見 協力会員と利用会員は同じ性質なのですか。

回 答 この制度は、事務的なものは補助があります。

利用会員は急遽子どもを預けたいとする人、協力会員は保育サービスを提供する人。

そのペアの数を100組と考えています。

意 見 社協(社会福祉協議会)では、市より委託を受けています。しかし協力会員はほぼボランティア的な費用で行われている状況でして、子育てサポートも役割ではあるが、在宅福祉サ

ービスの一つとして、家事サービス・高齢者の移送サービスなども含めた組織です。
車での送迎が良くないということで広がらなかった経緯があります。
送り迎えが夜になると、自分の家庭のこともあるので、協力もなかなか広がらない事情があります。

意見 第4章の事業の内容だが、平成26年度の目標はできるだけ数字を入れたほうがよいと思われる。例えばNo.40不妊治療費の助成なども期間の数字が入るのではないのでしょうか。また、No.16の保育所施設の整備はこの5年間で計画を作るだけが目標なのですか。

回答 毎年、事業については確認し、数字で捉えられるものは示していきたいと考えています。

意見 41ページのNo.62やNo.70からの健診などの%は、ちょっとしか目標があがっていないが、難しいのですか、目標は高くしてもよいのではないのですか。

回答 目標は少しでも早く達成させていくことを考えるが、担当課と確認いたします。

回答 保育所施設は、小委員会でも検討いただいているところではありますが、具体的な整備となると、一体どこを整備するのかと混乱をまねきかねないので、まずは22年度に計画を整備することとしています。

その後、財政的なものもあるが実施してゆきたいと考えています。

意見 No.83の食育推進計画の策定についても、保育所の整備計画と同様の考え方ですか。

回答 こちらも市町村の策定は努力義務ではありますが、早々に取り組んでいきたいということです。まずは姿勢を示したところでもあります。

意見 No.83は名称が計画の策定となっていますが、推進ということではないのですか。

意見 県でも22年度に進めろということになっているので、是非やっていただきたいと思っています。

意見 No.62母子健康手帳の交付が87%、No.70～75は92%ぐらいの目標であります。以前全然受けていない子どもが幼稚園に入ってきたことがありました。

施設等と連携すればほぼ100%にできるのではないのでしょうか。ある幼稚園では、入園受付時に健診を受診したコピーをもらって確認しているようにしています。

回答 母子健康手帳については、現状は早期にということが大切で、国では11週までに85%の交付が基準目標なので、笠間ではさらに充実させるということでもあります。

意見 母子健康手帳の更なる早期交付という事で良いのではないのでしょうか。

意見 健診も受けることが前提だと思うが、親へのPRをしていくことが大切だと思う。

意見 笠間市目標として、92%で良いのかと言う事です、目標は100%であるべきではないのですか。

意見 事例であります、妊娠がわからずにお腹が痛いということで受診に来まして、実は陣痛でありまして、その時になって初めて妊娠が分かったケースがありました。

予防接種も保護者の自覚の部分で難しい部分があり、集団接種から個別接種になったとたんに、受診率がかなり下がった状況もあります。なので、100%ということはありません。

意見 31ページの第3章の手法については、よく理解ができませんでした。手法（やり方）というよりはむしろ視点としたほうが分かりやすいのではないですか。

回答 手法→視点に替えます。

意見 また、「地域（団体）の役割」はみんなで育てるのだという意味合いから「地域（市民）の役割」としても良いのではないのですか。

意見 重点事業の中の公園整備では、遊具の設置がありますが、公園の考え方で遊具が無いと遊べない子が出てきてしまいます。私たちの子どもの頃のように、何も無いところで工夫して遊べる場所や地域の年配の人なども散歩ができるなど、遊具が無くても良いような公園が出来ないのでしょうか、幅広い年代の方がコミュニケーションが取れるような場所として、公園の枠にとられないほうがよいと思います。

回答 本来の公園はそうに感じます。今後、整備計画の中で色々検討されていくと思います。遊具の設置更新については、計画では既存の公園の遊具の更新を考えています。

意見 エイジフリーの視点で考えてもよいのではないのでしょうか。

意見 160事業があつて、びっくりしたがこれらをもっと周知・活用するのがよいと思います。畜産試験場後地も40haもあるので、草を刈っただけで上手に公園として利用できるのではないのでしょうか。

水戸の千波湖みたいに、芝生があるだけでも多くの人が集まってきている。あんなイメージで出来ないものではないのでしょうか。

意見 私のところにも公園の要望は多くでています。父兄などから聞くところによると、皆さん歩いていけるような身近な地域の公園を求めているようでした。現在はそのような公園は逆に管理不足で廃止されているところもあるようです。

回答 計画書からは削除したが、アンケートでは岩間地区で公園の要望が多かったです。どのような公園整備が必要なものか、担当課でも検討していくことになります。

意見 第3章の取り組み手法で資料4にあるアンケートの目標の表現について、分かりやすく、具体的に相談員を設置するなどとは示せないのでしょうか。取り組みの方向性の表現が理解しにくいです。誰もが見て判るような表現にして欲しいです。

回 答 表現については見直しをしてゆきたい。また、具体的な取り組みは事業で設定してあります。

意 見 出会いの機会について、成果があったのですか。笠間でやるにしても、笠間市内の人だけでなく、幅広く対応したほうがよいでしょう。

回 答 何組かはカップリングが成立しているようです。いろんな団体に声をかけて市外の方にもそのような機会をひろげていくことを考えています。

意 見 児童クラブの時間の拡大はよいことですが、現在3年生までであり、4年生の保護者が悩んでいます。12ページをみると、まだ余裕があるようですが難しいのでしょうか。

回 答 地域によって実情が異なります。定員を下回っているのは、余裕教室を利用する事によりその教室の面積で定員が決まり、地域的に預かるお子さんが少なく余裕が有る所です。市街地とか、例えば友部地区では現状での3年生まででも、受け入れが苦しいところもあります。余裕教室が無いところは建物を建てて対応しますが、児童数の3割程度が希望していますので、学年をあげると学校の横に第2の小学校を建てるようなことでありまして現実的ではなく、地域の不公平感を勘案いたしますと、笠間市の方針としては4年生の受け入れは難しいところです。

意 見 23ページのイラストは少し考えたほうがよいのではないですか。待機児童若干名という事だが33ページは2名と数字が入ってよろしいのでしょうか。

回 答 33ページは4月1日現在の数字です、毎年定点で見なければ目標設定にならないので、数字を入れました。

事務局 35ページの(2)の題名の表現ですが、もう少し良い表現は無いのかとなりまして、お知恵を拝借したいのですが。
例えば「結婚を希望する…」の表現は、「生涯のパートナーづくりの出会いの場」などではいかがでしょうか。

意 見 次世代の言葉を入れたらどうですか。
例えば、「次世代を担う男女の出会いの場づくりの促進」はどうですか。

意 見 次世代を担う男女の出会いの場ではいかがでしょうか。

委員長 これら、修正項目など本日出された意見を参考に修正して、パブリックコメントを行わせていただくこととなります。

議事(2)その他

事務局 保育所整備に関する検討会の中間結果報告について説明

事務局 次回は、パブリックコメント終了後、1月下旬から2月上旬に実施する予定です。